



絆

』 輝け さわやかに

奄美市立住用中学校

風は 住用中から

自分と向き合う冬休みに！

校長 小田 敬介

早いもので、2学期も終わろうとしています。

天候に恵まれ、みんなの力を合わせてやり遂げた保小中合同運動会、職場体験学習、地域の皆様の協力と指導を受け、たくさんの方に見ていただいた学習発表会、表現者として成長を感じられた音楽発表会など、まだまだたくさんの行事や出来事がありました。

また、様々なコンクールや検定試験で多くの生徒が受賞することができました。学校としては、市民体育祭の標語で学校賞、花いっぱいコンクールでは優秀校として、どちらも2年連続で受賞することができました。

さて、3年生にとっては、三者面談も終わって、自分の目標が決まったと思います。その目標は、自分で考え決めることができましたか。「すでに先輩などから聞いていると思いますが、高校の学習内容は中学の内容と比べると質も量も多く、時間をどれだけかけても終わらないと感じるぐらいになります。

また、高校教育は、義務教育ではなく自分が学びたいと希望して入る学校になります。なので、力不足の生徒は留年（進級できない）や卒業できずに退学といった選択肢も存在します。だからこそ、自分で進路について考え、悩み、決定することが、高校3年間を過ごす原動力となります。3年生の皆さん、この冬休みにもう一度自分と向き合って自分が決めたことを確認し、高校での学習に対する心構えを強く持つようにしましょう。

1・2年生の皆さんは、3学期は、新たな学年になる準備の期間でもあります。2年生は、最高学年へと進級し、1年生は、待望の後輩ができる2年生になります。住用中の伝統を受け継ぎ、伝える力を蓄えていきましょう。

最後に保護者、地域の皆様には、本年も中学校に多大なお力添えをいただきありがとうございました。来年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。どうかよいお年をお迎えください。



1月・2月の主な行事予定

- 1/ 1(火) 元旦
- 1/ 3(木) 住用地区成人式
- 1/ 8(火) 始業式 実力テスト(3年)
- 1/ 9(水) 実力テスト(3年)
- 1/12(土) 土曜授業
小中PTA懇親会(山間交流館)
- 1/13(日) 第52回成人祝賀奄美市
地区対抗駅伝競走大会
- 1/14(月) 成人の日
- 1/15(火) 教育相談員来校
- 1/16(水) 鹿児島学習定着度調査(~17)
- 1/19(土) 青少年育成の日
- 1/20(日) 市民清掃の日 家庭の日
- 1/22(火) 食育に関する授業
- 1/23(水) 子どもといっしょに読書の日
- 1/30(水) 中学校入学説明会

- 2/ 1(金) 餅つき・立志式
- 2/ 5(火) 芸術鑑賞(東城小中学校)
- 2/ 6(水) 田んぼ作業(あぜ作り)
ノーメディアデー(6日~14日)
- 2/11(月) 建国記念の日
- 2/12(火) 自転車点検日
- 2/13(水) 学年末テスト(~15)
- 2/16(土) 青少年育成の日
- 2/17(日) 方言の日 家庭の日
市民清掃の日
- 2/19(火) 教育相談員来校
- 2/22(金) 学級PTA、PTA役員会
- 2/23(土) 子どもといっしょに読書の日
- 2/24(日) 市まなび・福祉フェスタ
- 2/28(木) 学校評議員会

花いっぱいコンクールで「優秀賞」をいただきました。これからも環境作りに全職員・全生徒で取り組んでまいります。表彰式は2月24日の市まなび・福祉フェスタで行われます。

日本復帰記念月間の取組

今年は奄美が日本に復帰して65年目の年になります。住用中学校では、12月を日本復帰記念月間として次の取組を行ってきました。掃除時間に「日本復帰の歌」を放送で流したり音楽の授業で歌ったり、社会科の授業で奄美の戦争時の生活について映像を視聴しながら、奄美の復帰に関する歴史や平和について学ぶ取組をしました。以下は、授業後の生徒の感想です。年月が過ぎても、平和を維持し戦争があったことを風化させないためにも、歴史について学ぶことが大切だと感じました。

【3年生】

- ・他国では争っているところもあるけど、将来、戦争がない世界が実現してほしいと思った。(歩夢)
- ・戦争のことを忘れないようにして、これからはもう二度と戦争が起らないようにしていきたい。(あゆ)
- ・今があるのは先人たちのおかげです。衣食住を大切にしたいです。(愛翔)
- ・映像をみて見ると毎回今をありがたく思います。この平和を私たちが維持していきたい。(ちとせ)
- ・一番危ないことは、戦争について関心がなくなることだと感じた。一生忘れないでいたい。そして世界の平和に向けて協力していきたい。(孝福)
- ・これまで地元広島や修学旅行で長崎のことは学習したけど、奄美については初めて知り、特攻隊などもとても悲しく思いました。(康介)
- ・安心して生活できることが「幸せ」なんだと感じた。(健翔)

【2年生】

- ・特攻隊のことを知り、つらいと感じた。(蓮愛)
- ・今のような平和な日本が続いてほしい。(颯太)

【1年生】

- ・戦時中は食料がなく、昆虫を食べていたことを知り、戦争の怖さを感じた。二度と戦争はしてはいけないものだと感じた。(雅)
- ・シャワーは川や海に入って済ましたり、食料が足りずにいろいろなものを食べていたりしたことを知った。二度と戦争を起してはいけないものだとして改めて感じた。(にこ)
- ・お米を食べられず、いろいろなものを食べるしかなかったことを知りました。(琉太)
- ・畑仕事を夜にしたことを知りました。(暖人)
- ・空襲で眠ることができなかったことを知った。平和がずっと続いてほしいと思った。(晴琉)

ストレス解消で健康に

11月30日(金)の学校保健委員会に肥後先生を講師にお招きして「ストレスへの上手な対応法」と題して講話をしていただきました。思春期のホルモンの影響で何となくストレスを感じていることやメディアが脳に与える影響も学びました。保護者も一緒にストレスを上手に解消する方法を学ぶことができました。



環境保護教室

11月29日(木)に、住用マングローブパークにてリュウキュウアユの保護活動について学習しました。鹿児島県環境技術協会の米沢俊彦先生にリュウキュウアユ保護活動について説明をしていただきました。



飼育槽にはたくさんリュウキュウアユが飼育されていましたが、そこまで成長させるために毎日エサとなるプランクトンを計って与えるなど、大変な苦勞があることを知りました。小学生の時には、アユを守ることを中心に勉強してきましたが、中学生ではそれを支えている周囲の方たちのがんばりを知ることができました。これからも私たちのできることから、美しい環境を保つ活動を考えていきたいです。

人権の大切さ

12月8日(土)に人権擁護委員の川畑さんと満さんを講師にお招きして人権教室を実施しました。DV「めぐみ」の視聴を通して、拉致によって当たり前の生活が一瞬にして壊れてしまうことを知りました。これからも当たり前の生活が続けられるように、人権を尊重する大切さを学び続けてほしいと思います。



アートセラピー

スクールカウンセラーの青木先生にアートセラピーを受けました。空き箱に雑誌の切り抜きを貼りながら、心の内面を表現する「自分ボックス」の作成をしました。この活動によって、どのような場においても自分らしさを失うことなく生活していく力を高めることができるそうです。子どもたちの今を知るとても良い機会となりました。



【表彰】

- ・日本復帰記念英語暗唱大会
優良賞 與島ちとせ
- ・日本復帰記念弁論大会
優良賞 潤井 あゆ

